

令和7年度 高等学校「美術・工芸」実技研修（映像メディア表現） 実施要項

- 1 目的 芸術科（美術・工芸）における専門的な知識・技能を身に付け、生徒の資質・能力を育成するための実践的な指導力の向上を図る。
- 2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の美術、工芸担当教員

募集人数 15名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	12月16日（火） 14:00～17:00	映像メディア表現の実践事例と演習 〔講義・演習〕	府立高等学校 教諭等 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- （1）受付は30分前から。
 - （2）来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - （3）大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - （4）（受講決定後～当日）Plantで、事前連絡や課題等がないか確認すること。

- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和7年度 高等学校「美術・工芸」実技研修（映像メディア表現） シラバス

1 目的

芸術科（美術・工芸）における専門的な知識・技能を身に付け、生徒の資質・能力を育成するための実践的な指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	映像メディア表現の実践事例と演習	映像メディアによる表現の効果的な指導のための実践力を身に付ける。	講義、演習を通して、映像メディア機器の表現の特質や可能性を学び、実際に表現する。	準備物 ※詳細は研修1週間前までに Plant に掲載します。